

# 稚児衣装(雅)着付け方



**完成**

## 稚児衣装(女子)の種類

袴(はかま)	白衣(下着) 女子ピンク 男子ブルー	ちはや(上着) 女子赤系 男子青系
--------	--------------------------	-------------------------



**①**

白衣を着せます・・・合わせ方は、子供自身の左側が外側になります(右前になる)白衣を着る際、中にTシャツ一枚を着ると滑りにくいので着させあげてください



**②-1**

**安全ピン**

『ちはや』(上着)を肩から羽織らせ体の前で交差させます(この時、袖には手を通さないで下さい) 白衣と同じく左側が外側になります交差させた所をずれ止めの為に安全ピンで止めます

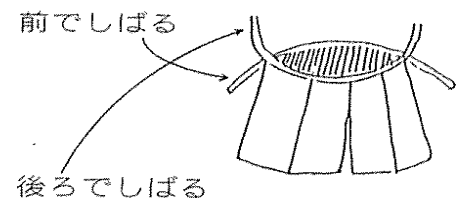


**②-2**

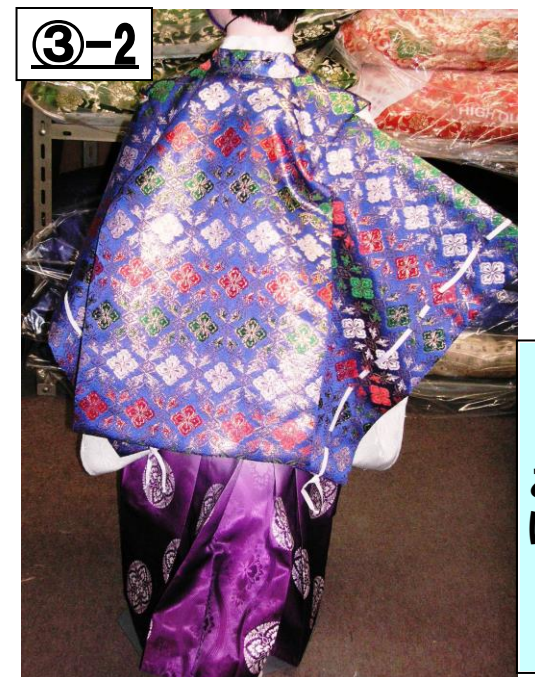
ご父兄が腰ひもを持っておられたら前側の『ちはや』の上から止めて、後ろでくる。(この時のくり目は、袴で隠れます)⇒着くずれ防止になります



**③-1**

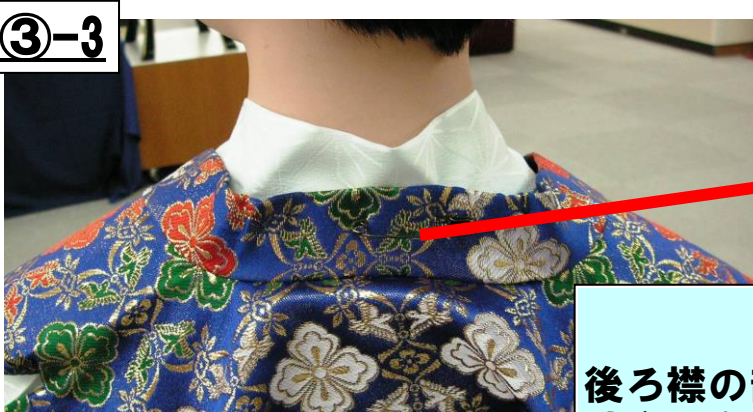


袴をはかせます(前・後ろはないのでどちらからでも大丈夫です)袴をはかせ『ちはや』を袴の中に入れて、前に付いている紐を後にもっていき縛ります(チョウチョ結び)次に後側の袴紐は後の結び目を隠すようにして、前で結びます(チョウチョ結び)



**③-2**

この時『ちはや』の背中は袴より外側に出します



**③-3**

**安全ピン**

後ろ襟の部分白衣と『ちはや』を安全ピンで一緒に止めると動かなくなり着くずれ防止となります



④-1

男の子は鳥帽子（えぼし）をかぶります



④-2

太い紐が前です。細い紐と太い紐を耳の下で交差させてあごの下で2本とも一緒にチョウチョ結びにします



⑤-1

女の子の冠は赤いふろしきの中に入っています。部材が二つに分かれています



⑤-2

鳥（ホーオー）がついた部材を冠の内側に差し込んで下さい



⑤-3

かぶり方は、黒いバンドがついた方が後側になります。赤いひもは2本まとめて耳のじゃまにならない様に位置を決めて2本一緒にあごの下でチョウチョ結びにして下さい



⑥



お化粧はお家の方の判断でされる方、されない方、色々ですが、お母さんの化粧道具で薄化粧に仕上げ、眉毛の少し上側の左右に黒い点（直径3～5ミリ）を描きます。目じりには赤い口紅を使って紅筆で線を引きます（1cm程度）唇の真ん中辺りに紅を塗って下さい

行列の時は梅の花を右手に、持たせて下さい。たび・ぞうりを履いての行列は、子供さんが転倒される原因になりますので、最近はお家で履かれている白っぽい靴と靴下で参列される方が多いです。

一緒にお渡ししたお花は今回の記念品となりますので、返却してもらわなくて結構です。